



※ R4は補正後予算、R5は当初予算

地下鉄事業は、建設に巨額の投資を必要とし、支払利息や減価償却費の資本費の負担が大きいことから、長期的に収支の均衡を図っていく事業です。平成23年度以降、単年度損益は黒字基調で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による大幅な減収のため、令和2年度以降、大きく損益が悪化しております。令和5年度につきましては、七隈線延伸効果や緩やかな回復傾向であることから、13億円の黒字となる見込みです。